

健康ニュース No.47

受動喫煙防止対策を強化する

健康増進法の一部を改正する法律が成立・公布されました

望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、一定の場所を除き、段階的に喫煙が禁止となります。

受動喫煙とは？

人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることをいいます。



どんな健康影響があるのか？

受動喫煙によってリスクが高まる病気※には、

肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群 (SIDS) があります。

年間 15,000人 が、受動喫煙を受けなければ、これらの疾患で死亡せずに済んだと推計されています。

※因果関係を推定する証拠が十分(確実)な病気

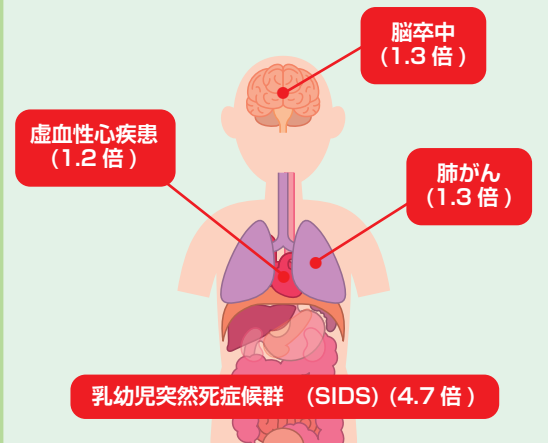
受動喫煙による年間死亡数推計値

	男性	女性
肺がん	627	1,857
虚血性心疾患	1,571	2,888
脳卒中	2,325	5,689
小計	4,523	10,434
乳幼児突然死症候群 (SIDS)	73	
合計	15,030 (人)	

※各疾患の死亡数の何%が受動喫煙によるものかを計算し、その割合を2014年の死亡数に乘じ算出した。

出典 厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
「たばこ対策の健康影響および経済影響の包括的評価に関する研究」

受動喫煙によってリスクが高まる病気



()…受動喫煙を受けている者が、受けていない者に比べ、病気になるリスクが何倍か

出典 「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」
国立がん研究センターがん情報サービス

改正はどのような趣旨で作られたのか？

改正趣旨

「望まない受動喫煙」をなくす
受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮
施設の類型・場所ごとに対策を実施

